

伊佐市立中学校再編成市民説明会（牛尾小校区）	
日 時	平成23年10月20日（木） 午後7時00分～午後8時00分まで
場 所	牛尾小体育館
出席者	市長・副市長・教育長・総務課長・企画調整課長・財政課長・建設課長・学校教育課長・事務局（6人） 参加者 24人
<p>○ この会の出席者数を教えてください。伊佐の未来を担っていくのは子どもたちですが地域の皆さんがどこまでこのことに関心があるのか教えてください。それと、再編成スケジュールの25年度26年度の交流学习等で生徒の不安解消に努めると書いてある。小さな学校から大きな学校になることで子どもたちにはかなりストレスとの不安があると思う。また、小学校も小さな学校から行く子供たちはかなりの不安があると思いますのでどういう交流学习を考えているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒会の交流等や、部活動も12あるところ8つあるところいろいろありますのでそれを進めていく。また、文化交流についても進めていく。 <p>出席者の状況について、菱刈地区58名、山野小校区43名、平出水小校区21名、パーセンテージについては出していない。</p> <p>○ 数字的な統計からこのような計画となっているが、47年までには時間的な余裕もあるので人口が増える対策を検討していただけないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合振興計画にも雇用・定住等の政策を掲げている。今後も他の市町等も参考にしながら人口が増える取り組みを行っていきたい。今のこの数字は統計的に行くと人口がこのように減少するというを表しております。 <p>生徒数が減少するからやむなく再編成するんだと捉えられている面もありますが、教育委員会としては勿論生徒数が減って行って学校を再編成しなければならないというのはありますが、この再編成する学校では、これまで3つの中学校でおこなっている教育よりは新しい質の高い教育を目指している。そして、菱刈中学校と競い合いながらさらにレベルアップしていくという教育をしていく。</p> <p>子育て世代が増えないとこの問題の抜本的な解決策はないと思います。全国的に子育て世代が増えている例は少ないです。空港等立地条件の良いところでないと企業が進出してきてくれない状況になっている。伊佐市では、まず地元の企業に雇用を増やしていただけるようお願いしている。企業誘致についてもいろいろな政策をやっております。今後もこのような活動や子育てに関する施策をいろいろと続けながら子育てしていただけるような方が進んで住みやすいような街づくりを進めて抜本的な解決策を探って行きたいと思います。</p>	

- 平成 27 年度に伊佐市に中学校が二校になり、伊佐市が大口と菱刈で合併してその経緯を考えると、心理的な面、溝などを子どものときから感じないかという心配と、子どもは真直ぐでするのでどこで育つかとかどんな集団とすごすかで子どもたちの今後にかかわってくると思います。その中で菱刈中だけが単独で行くということがいいのか疑問です。伊佐に住んで 3 年になる。これから一緒に伊佐を作って行きたいと思っております。市の方だけが街づくりにかかわって考えるのではなく、今日のこの会の状況等をみんなにお知らせしていく、学校の再編成だけでなく伊佐市の街づくりとして根本的なところをみんなで真剣に考えていくということについて教えてください。
- ・ 菱刈中は今回の再編成では現状のままで行くということになりました。二つの中学校が良い意味競争をしていくということ、そして交流をしていくということ、二つの中学校が切磋琢磨しながら伸ばしあっていくという教育環境を又は指導体制を作っていくということだと思えます。そして、伊佐市の二つの中学校が質の高い教育ができ、子どもたちが伊佐を誇りに思うような教育活動をしていかなければならないと考えています。
- 街づくりの観点から、学校がこのように再編成されて、さまざまな校区から子どもたちが学校に通うようになります。学校内での教育と共にこれからはコミュニティとの連携によるオープン授業のような仕組みが作れたらそれが参加しやすい地域づくりになり、子どもたちも地域の行事等にスムーズに参加しやすい環境になるのではないかと考えています。

以上